

2 現職教育・研究推進

(1) 目的

教育専門職としての自覚を持ち、自らの資質の向上に資することを目的に、児童の人間力を育み、一人一人を生かす（インクルーシブ）教育を推進するため、主体的に研修に努め、教育効果の向上を図る。

(2) 本年度の研究主題

自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成

～読む力を高める国語科の授業作りを通して～

(3) 主題設定の理由

本校においては、令和2年度より「言葉による見方・考え方を働かせた授業作り」をテーマに指導方法の工夫・改善に取り組んできた。この取り組みから叙述を意識して文を読み取る力がついてきた一方、語彙力の低さや読み取ったことを生かして自分の考えを形成する力が身につけていない。

この課題をふまえ今年度の研究主題は「自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成」とした。“自分の考えをもち”とは主体的に学ぶこと、“ともに学び合う”とは他者との関わりを通して自分の考えを深めたり広げたりすることと考える。自分の考えを周りの児童との対話を通してより広げ、国語科の読む力を高めることをねらいとしている。

これらのことから、今年度も説明的な文章教材に焦点を当て、3部会で研究することをより明確にし、相互の関わり合いを深め、児童の学力向上と教員の指導力向上を目指していく。

イメージ図



(4) 児童に身に付けさせたい力

- ① 見通しを持ち、筋道を立てて考える力
- ② 叙述を基に、必要な情報を読み取り活用する力
- ③ 自分の考えや根拠を言葉や文字で伝える力
- ④ 他者と共有することを通して自分の考えを広げる力

(5) 研究の視点

- ① 目的に応じて児童がともに学び合う場面の設定
- ② 主体的に学習に取り組むしかけづくり（発問・声かけ、学習活動、教材）
- ③ 自分の考えをまとめ、表現するための支援（UD・ICTの活用）

(6) 具体的な取組内容

- ① 国語科の説明的な文章教材の指導法の共有
(学び合いにつながる発問を意識した学習計画の作成)
- ② 国語科における系統的な指導(説明文のわざ・こつ表の活用)
- ③ 「ともに学び合う児童の育成」に基づく一人一実践(互見授業、研究授業)
- ④ 「朝の学習」「補充学習」の時間を活用した、基礎的・基本的な学力の充実と定着
- ⑤ UD化チェックリスト・国語科スクリーニングテスト・コグトレの活用

(7) 研究計画

- ① 研究主題に沿った現職教育、随時必要に応じて行う現職教育
- ② 互見授業・研究授業・授業研究会
- ③ 計画的な部会の運営

| 月 | 実 施 内 容 |
|----|--|
| 4 | ○教育目標・教育方針の共通理解 ○研究計画立案 ○国語科スクリーニングテスト実施 ○研究推進組織編成・研究主題・主題設定の趣旨・研究の視点設定 ○年間指導計画作成 ○研究内容・研修方法の決定 ○校内研修「各調査問題実施に向けた共通理解」 |
| 5 | ○校内研修「UDの概要」 ○国語科スクリーニングテスト分析 |
| 6 | ○校内研修「授業研の学習指導案検討」 ○互見授業 ○校内研修「三部会の取り組み交流」 |
| 7 | ○校内研修「授業研・研究協議」 「授業実践や学級経営実践例の発表および意見交換」 ○校内研修「児童の実態把握」 ○互見授業 ○校内研修「三部会の取り組み交流」 |
| 8 | ○夏期校内研修①「研究主題に沿った研修」 ○夏期校内研修②「特別支援」 |
| 9 | ○互見授業 ○校内研修「授業研の学習指導案検討」 |
| 10 | ○校内研修「授業研・研究協議」 ○互見授業 |
| 11 | ○互見授業 |
| 12 | ○互見授業 ○校内研修「三部会の取り組み交流」 |
| 1 | ○校内研修「授業研の学習指導案検討」 ○互見授業 ○校内研修「授業研・研究協議」 ○国語科スクリーニングテスト実施 |
| 2 | ○互見授業 ○国語科スクリーニングテストまとめ ○校内研修「三部会の取り組みのまとめ(成果と課題及び次年度に向けて)」 |
| 3 | ○校内研修「児童の様子(次年度に向けて)」 |